

第1回 議員活動報告会



大好きな根室の為に
誠実・勇気・挑戦

日時：平成21年11月26日

会場：根室市総合文化会館中会議室



1.活動報告 その1

9月議会の一般質問について

1.新病院建設問題と病院経営について

(1)新病院建設実施の前提となる病院経営の諸課題について

(2)市立根室病院事業改革プランと一般会計の財源負担について

(3)新病院建設の今後の進め方と市民参加について

2.政策評価と情報公開について

3.根室市地域情報化計画とデジタルディバイドの問題について

1.活動報告 その2

9月議会 補正予算の審査について

※病院の基本設計業務委託料(29,085千円)についての質問

- ① 北海道の採択選考から漏れた「地域医療再生交付金」の新病院建設への影響について。
- ② 基本設計の委託先の決定方法及び業者選定の方法
- ③ 継続審議となっている療養病床の問題、建設償還費用を含めた収支計画、及び一般会計繰出金についての今後の審議経過が、基本設計に影響しないのか？
- ④ 市民が参加できる余地はあるのか？
- ⑤ 療養病床についてはどの様な角度から検討を行うのか？(新病院への療養病床機能の組み込み検討の余地があるのか確認)
- ⑥ 積み残し課題の論議や基本設計及び実施設計の進め方など作業の進め方が不透明であることを指摘
- ⑦ 建設費用の圧縮の取り組みを具体的にどの様に行うのか確認
- ⑧ 医療機器や情報システムの検討方法について確認
- ⑨ 改革プランの入院患者数の目標設定は厳しいのではないかと今後収入確保対策をどのように進めるのか。
- ⑩ 歳出についても徹底した節減が必要であるが、既に、人員については大幅アウトソーシング(外部委託)も行われており、新たなる、歳出削減策として何を行うのか？

1.活動報告 その3

平成20年度 事業会計の決算状況について

- ・港湾整備事業会計 港湾会計の体力強化策について
- ・水道事業会計 純損失の要因と会計の健全化について
- ・下水道事業会計 下水道事業会計の今後の経営見通しについて
- ・病院事業会計

- (1) 救急外来の患者動向について
- (2) 患者の市外流出の問題について
- (3) 医師や看護師、医療従事者の研究研修の実態について
- (4) 短期出張医師等の送迎に要する費用と職員の送迎の問題について
- (5) 平成20年度の経営状況について
- (6) 経営改革プランの実行と新病院建設について

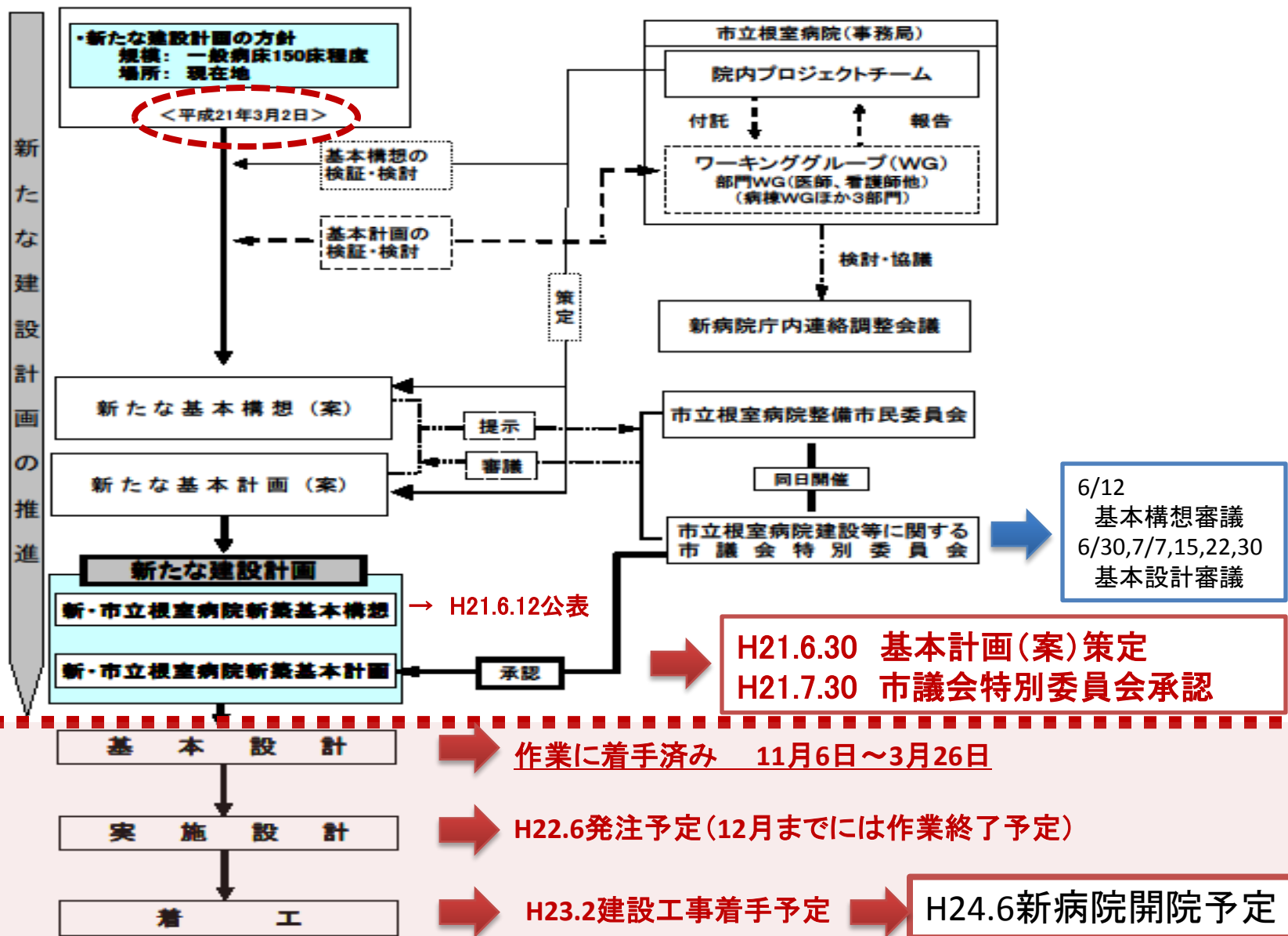
2.新病院建設事業の 推進状況について

- ① 新病院建設までのスケジュールについて
- ② これから協議・検討される事項について
 - ・基本設計のプロポーザルで示された、技術提案等について
 - ・新病院の機能面の確認(基本設計にも基づく)
 - ・改革プランの推進状況
 - ・療養病床についての検討状況の報告
 - ・一般会計繰出金について(全会計の状況を踏まえ財政担当からの説明)
 - ・建設費を含めた収支計画について
- ③ 私が考えている現状の問題点・課題について
- ④一般会計の負担と市民生活への影響について

病院建設に向けた今までの主な経過

年月	主な経過
H13.12	新病院庁内連絡会議 設置
H15.5	市立根室病院整備市民委員会 設置
H15.6	市立根室病院建設等に関する【市議会特別委員会】設置
H16.3	市立根室病院新築【基本構想】発表
H16.12	新病院【建設用地】決定
H17.5	新市立根室病院の整備と基本方針【基本計画】(市議会特別委で承認)
H17.12	基本設計【中間報告】公表
H18.2	平成18年度の新病院建設【着工の延期】発表
H18.9	「段階的な建設推進」など検討結果を、市議会特別委員会へ報告
H21.3	[移転改築で199床規模]の計画を困難と判断し、【現地改築で一般病床150床程度】とする【新たな建設計画】を策定する方針を公表。

新病院建設計画の推進に係る作業の流れと機構図



新しい病院の診療科目と施設設備

新市立病院の診療科目

次の18診療科を標榜します。

- ① 内科
- ② 循環器内科
- ③ 呼吸器内科
- ④ 消化器内科
- ⑤ 外科
- ⑥ 心臓血管外科（休診中）
- ⑦ 消化器外科
- ⑧ 整形外科
- ⑨ リハビリテーション科
- ⑩ 小児科
- ⑪ 眼科
- ⑫ 泌尿器科
- ⑬ 耳鼻咽喉科
- ⑭ 産婦人科
- ⑮ 皮膚科
- ⑯ 麻酔科
- ⑰ 脳神経外科（休診中）
- ⑱ 放射線科

なお、心臓血管外科、脳神経外科については、休診中のため、診療体制の充実が図られるまで施設整備を保留とします。

新病院の施設設備の基本方針

1. 建設計画の基本的事項

- (1) 建設場所
 - ・所在地：根室市有磯町1丁目2番地
 - ・敷地面積：13,007.47 m²
- (2) 駐車場確保
 - 駐車台数は、250台（現在は200台）

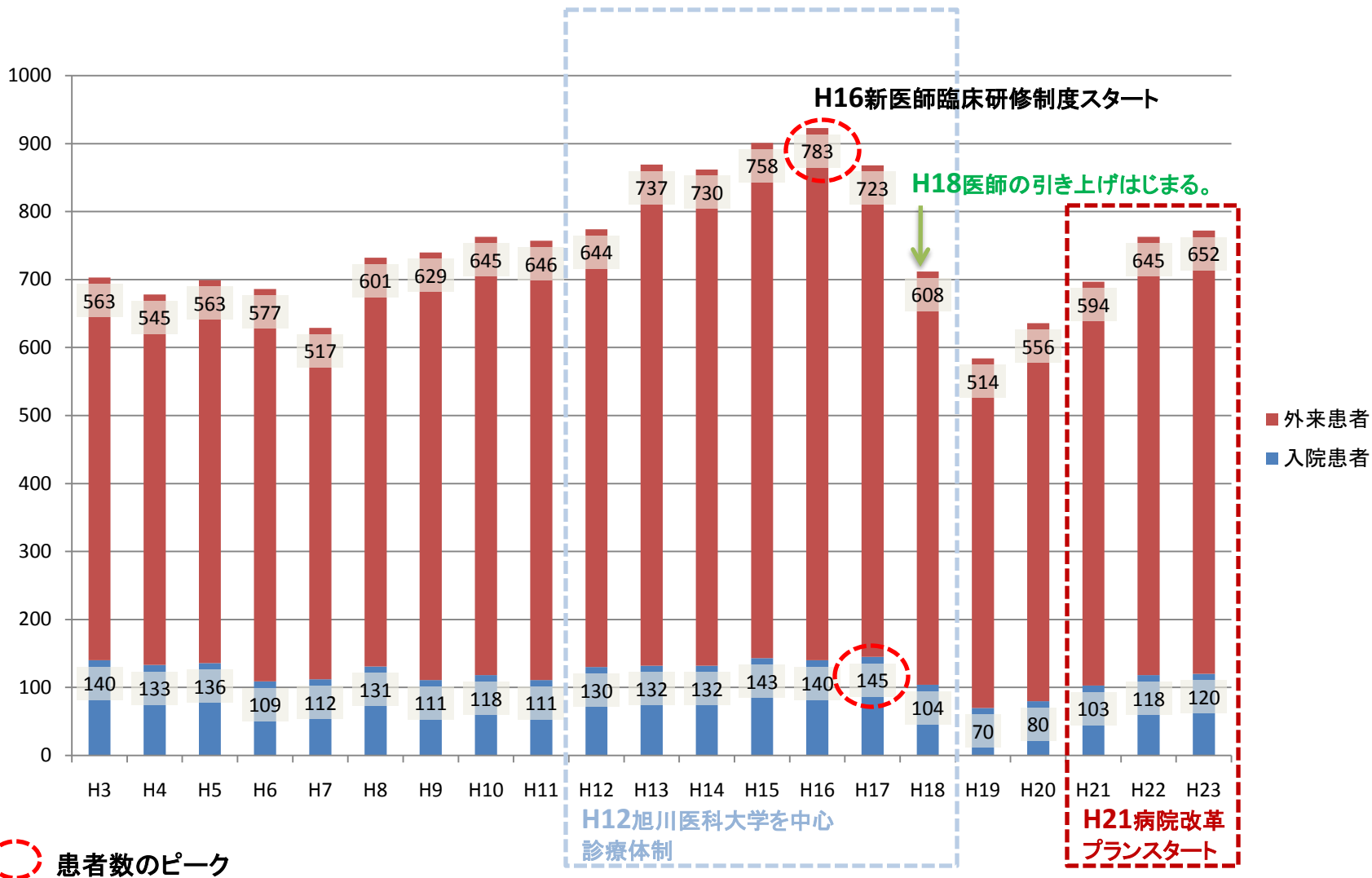
2. 病床規模

- (1) 病床数
 - 新市立病院の病床数は150床とし、内訳は以下のとおりとします。
一般病床 146床 [うち重症患者病床(基準外) 4床]
感染症病床 4床
- (2) 病棟構成及び機能
 - ① 病棟は3病棟とします。
 - ② 1病棟の病床数は概ね50床程度とします。

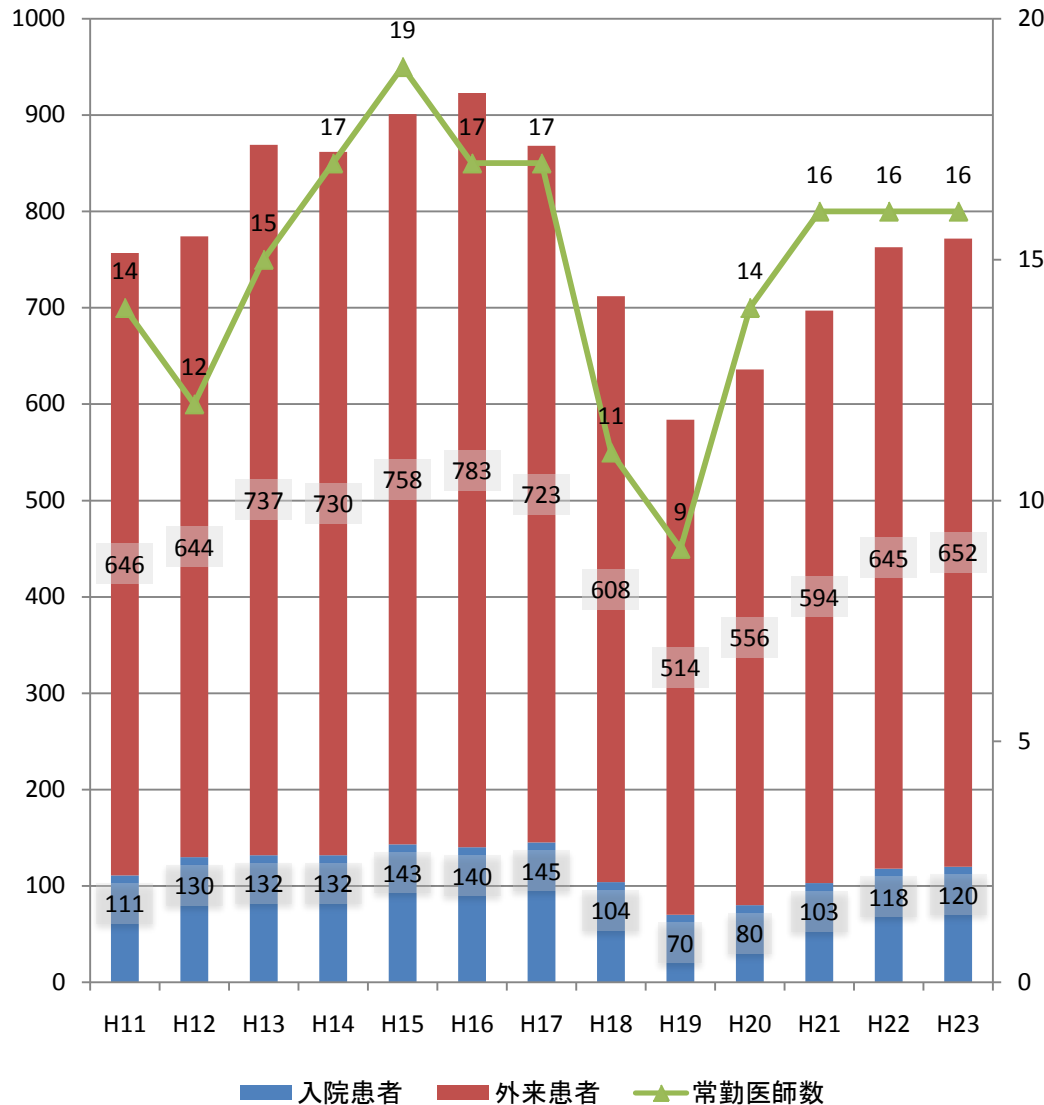
3. 施設整備等

- (1) 周産期医療の整備
- (2) リハビリテーション施設の充実
- (3) 訪問看護(支援)室の設置
- (4) 医療相談室(医療・福祉相談)の設置
- (5) 病歴管理室の設置
- (6) 地域医療連携室の設置
- (7) 諸室の整備
- (8) 病院IT化

市立室病院の患者動向



病院に必要な医師数の考え方



年度	患者数		常勤医師数	不足医師数	必要医師数
	入院患者	外来患者			
H11	111	646	14	9.0875	23.1
H12	130	644	12	12.2250	24.2
H13	132	737	15	11.6750	26.7
H14	132	730	17	9.5000	26.5
H15	143	758	19	8.8875	27.9
H16	140	783	17	11.3250	28.3
H17	145	723	17	10.1375	27.1
H18	104	608	11	10.7000	21.7
H19	70	514	9	8.2250	17.2
H20	80	556	14	4.9000	18.9
H21	103	594	16	5.2875	21.3
H22	118	645	16	7.5000	23.5
H23	120	652	16	7.8000	23.8

※H20年度短期出張医師 4.2名

医師1名が診療可能な患者数

◆入院患者 16名

※療養病床は 48名

◆外来患者 40名

(眼科、皮膚科は80名)

看護職員の配置の考え方

病棟 120人の患者の看護体制 (10対1看護)

120/10=12名

12名×3交代×30日=1,080名

1名の看護師20日勤務

必要看護師数 $1,080/20=54$ 人



- ・10対1看護が市立病院の目標
- ・3病棟とも3名夜勤体制では72名
(内正看50.4名)
→ 受入可能患者 160名

病棟3人夜勤をするための看護体制

1日6名の配置

1か月180名の要員

1名の看護師64時間(8回)とした場合

$180/8=22.5$ 名+管理職の配置 ≒24名

病棟2人夜勤をするための看護体制

1日4名の配置

1か月120名の要員

1名の看護師64時間(8回)とした場合

$120/8=15.0$ 名+管理職の配置 =16名

外来の当直体制

1日2名体制で日当直を行う場合、原則1名2回とした場合。

月の宿日直コマ数。

当直30回+土日の日直8回+祝祭日等 平均2回

=40回×2名/2名

必要人員は40名

現在の看護師配置数(21.9.1)

病棟 看護師 43名 准看護師 18名 = 61名

※正看比率 70.5%

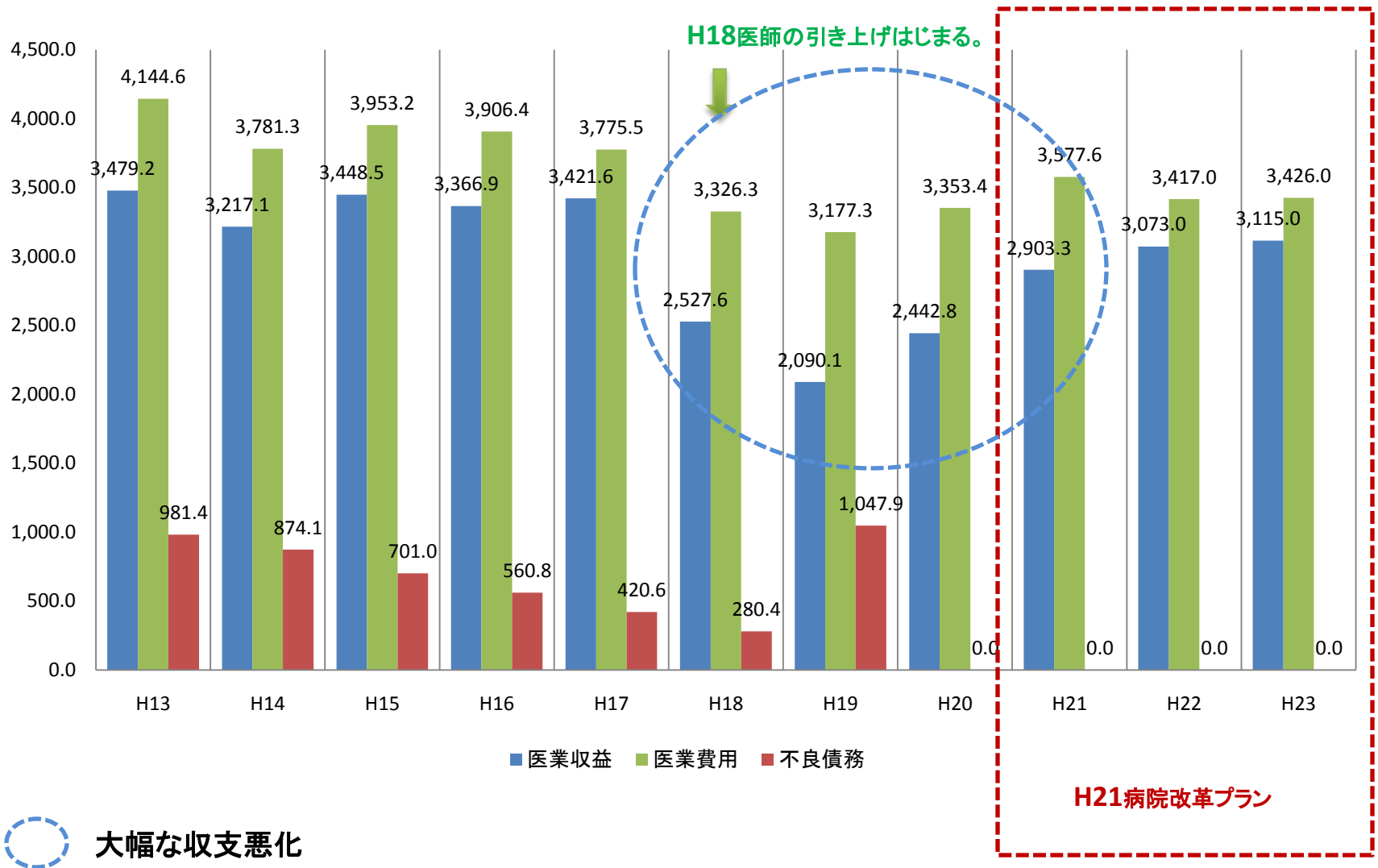
※この体制での最大受入可能患者 135.5名

外来 看護師 22名 准看護師 16名 = 38名

※ 臨時看護師 6名 臨時准看護師6名

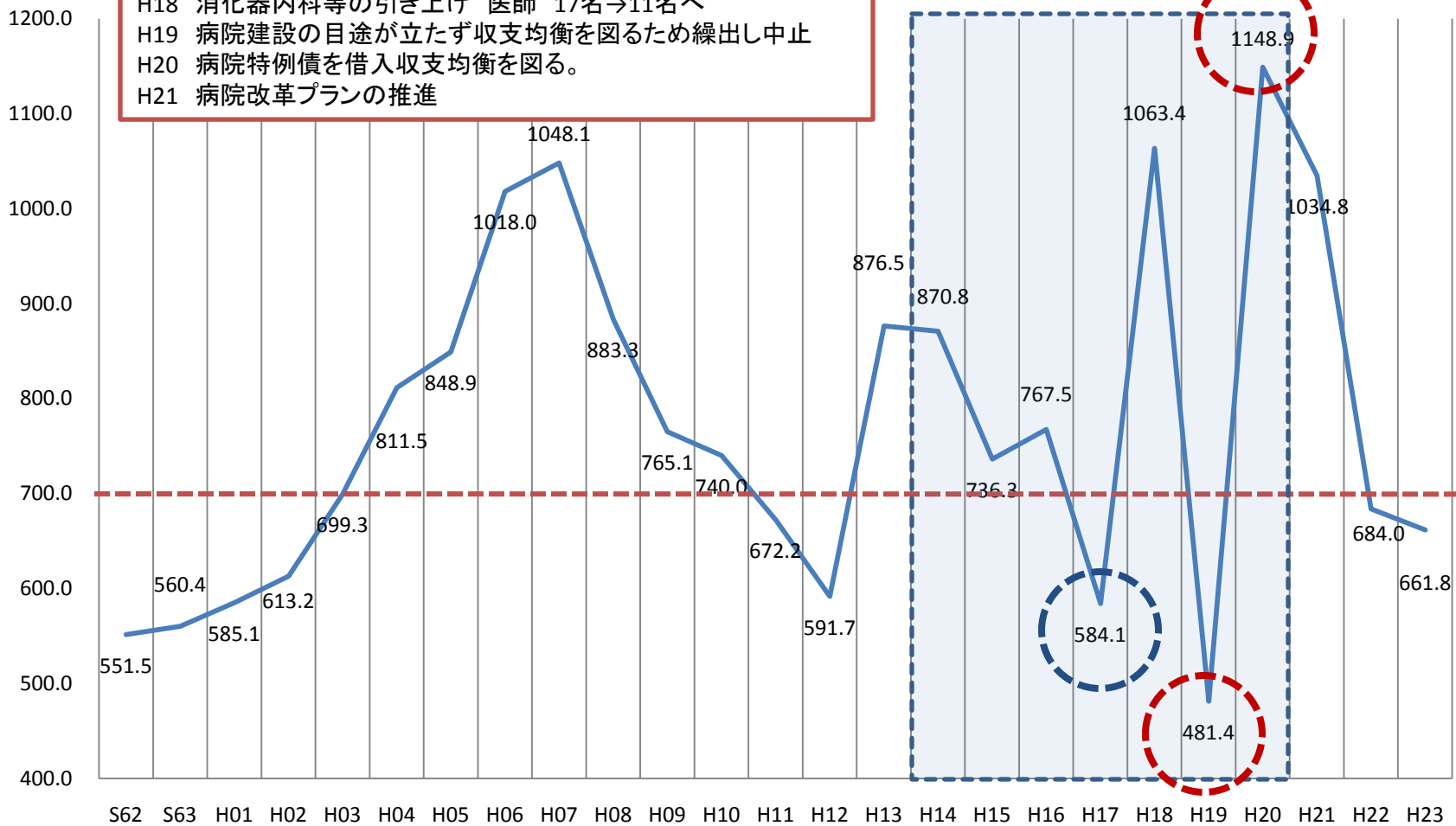
※ 看護部長除く

市立病院の収益動向と不良債務



一般会計から病院への繰出金

- H17 収支状況が改善一番よかった。(入院145名、外来723名)
- H18 消化器内科等の引き上げ 医師 17名→11名へ
- H19 病院建設の目途が立たず収支均衡を図るため繰出し中止
- H20 病院特例債を借入収支均衡を図る。
- H21 病院改革プランの推進



— 繰出金額

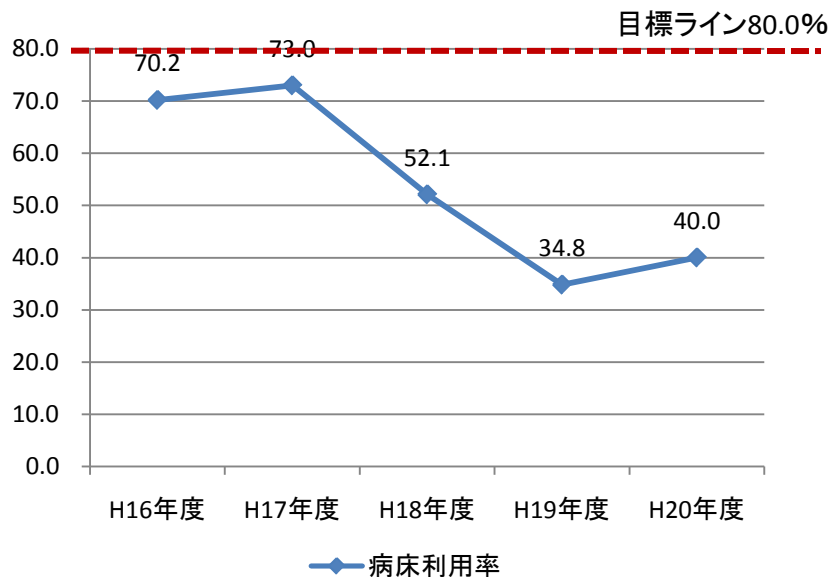
H14 第五次病院経営健全に着手
7年間で981百万円の不良債務の計画的解消
毎年140百万円の解消

病院の経営目標指標について

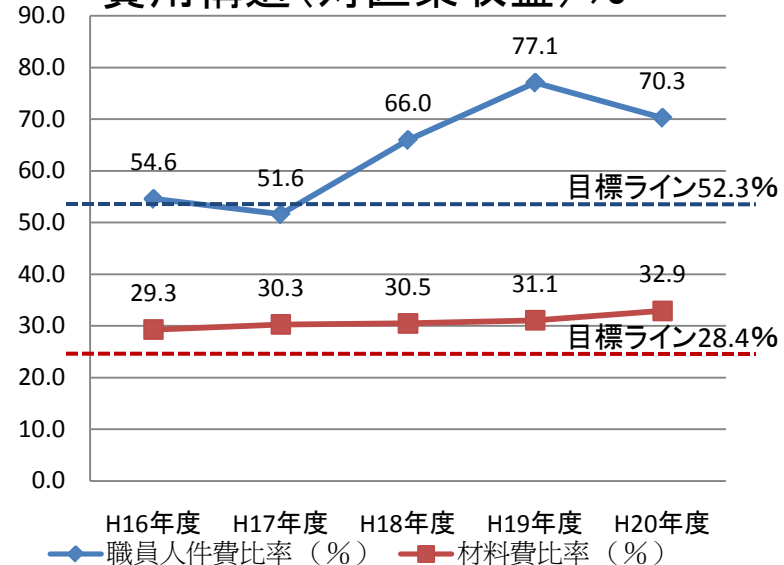
病院会計決算指標

	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
病床数	199	199	199	199	199
入院患者	51,005	53,043	37,860	25,333	29,027
一日平均患者数	139.7	145.3	103.7	69.2	79.5
一日1人平均入院収益	36,034	35,821	32,599	35,543	42,269
病床利用率	70.2	73.0	52.1	34.8	40.0
平均在院日数	16.7	19.2	20.1	15.6	14.6
外来患者数	190,215	176,317	148,985	125,940	135,154
一日平均患者数	782.8	722.6	608.1	514	556.2
一日1人平均外来収益	7,194	7,711	7,717	8,368	7,894
外来患者数/入院患者数比率	372.9	332.4	393.5	497.1	465.6
職員人件費比率	54.6	51.6	66.0	77.1	70.3
材料費比率	29.3	30.3	30.5	31.1	32.9
100床当たり医師数	10.0	9.5	7.3	8.1	8.8
100床当たり看護師数	73.1	70.9	67.6	60.7	57.0

※職員人件費比率（医業収益に対する人件費の割合）



費用構造(対医業収益)%



市立病院の経営状態

※基本構想20年度決算分析資料より

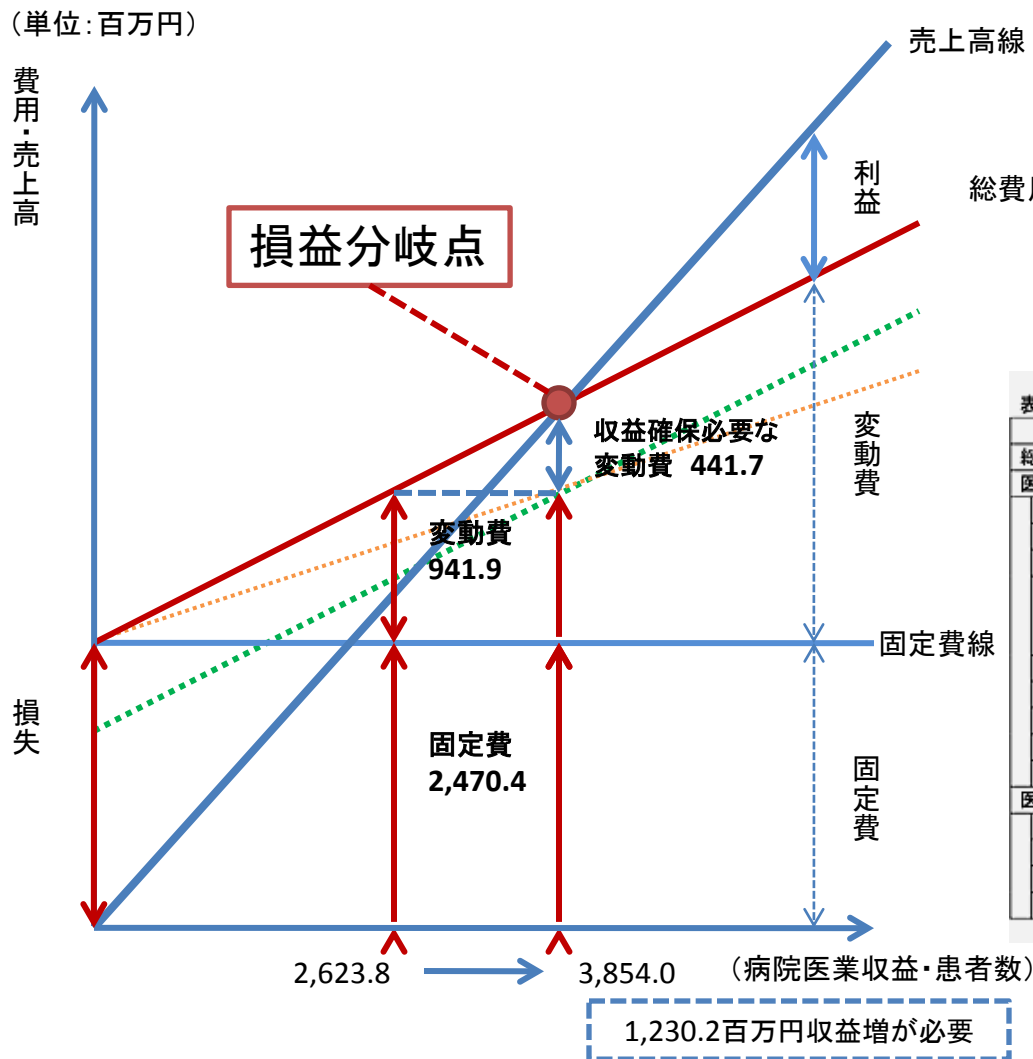


表 平成20年度総費用明細

(単位: 千円)

		固定費額	変動費額
総費用	3,412,361	2,470,429	941,932
医業費用	3,318,025	2,376,196	941,829
給与費	1,826,355	1,780,124	46,231
うち時間外勤務手当	46,231	0	46,231
材料費	824,268	0	824,268
うち薬品費	487,733	0	487,733
うち診療材料費	334,922	0	334,922
うち医療消耗備品費	1,613	0	1,613
経費	549,803	478,473	71,330
うち検査委託・給食委託	71,330	0	71,330
減価償却費	88,684	88,684	0
資産減耗費	4,649	4,649	0
研究研修費	24,266	24,266	0
医業外費用	94,336	94,233	103
支払利息	26,088	26,088	0
患者外給食材料費	103	0	103
うち患者外給食材料費	103	0	103
雑支出	68,145	68,145	0

私が考えている現状の問題点・課題について 新病院建設に向けてチェックが必要な事項

・療養病床の必要性と今後の取り組みについて

1. 根室市内に療養型病床の設置を必要とするのか
2. 保健、福祉、介護と病院の連携でどの様に解消できるのか
3. 市内の患者動向(急性期、回復期、慢性期)
4. 医療療養型病床での入院治療が必要な患者の動向分析
5. 釧路も含め近隣市町の療養病床の実態と市民の入院の状況

・建設費を含めた収支計画について

1. 建設期間中の現行病院での収支見通、新病院移行後の収支見通しを一連で(診療科別の医師体制、患者数、収入見込み等を含め)
2. 150床の診療科別配分
3. 常勤医師体制及び応援体制についての目標
4. 看護師確保・コメディカルスタッフ等具体的な人員配置計画
5. 新たな収入確保対策項目と具体的な目標
6. 費用削減項目と具体的な目標
7. 損益分岐点について(収支均衡を図るための目標)

・一般会計繰出金の見通し

・基本構想、基本計画に盛り込まれていない事項

1. 亜急性期病床の検討
2. 人間ドック・健診等を行うセンター機能についての検討
3. 病院機能評価に基づく施設整備

・患者サービスの視点

施設のアメニティ
患者サービスの為の機能・規模
これまで感じていた不便がどう解消されるのか

・医師や看護師の確保対策

医師招へいの見通
看護師の確保の見通し
市民にできることはないのか？

・病院経営は大丈夫なのか

将来負担はどうなるのか
市全体の計画への影響はないのか

・新しい病院になって何が変わるか

病院の経営理念は
患者の権利について
職員の接遇やマナーは

3. 議会改革について

- 議会での取り組みの進捗状況について
- セミナー参加の感想について
- 私の考えと今後取り組み方向性について

議会改革セミナー

「議員の使命と議会改革」

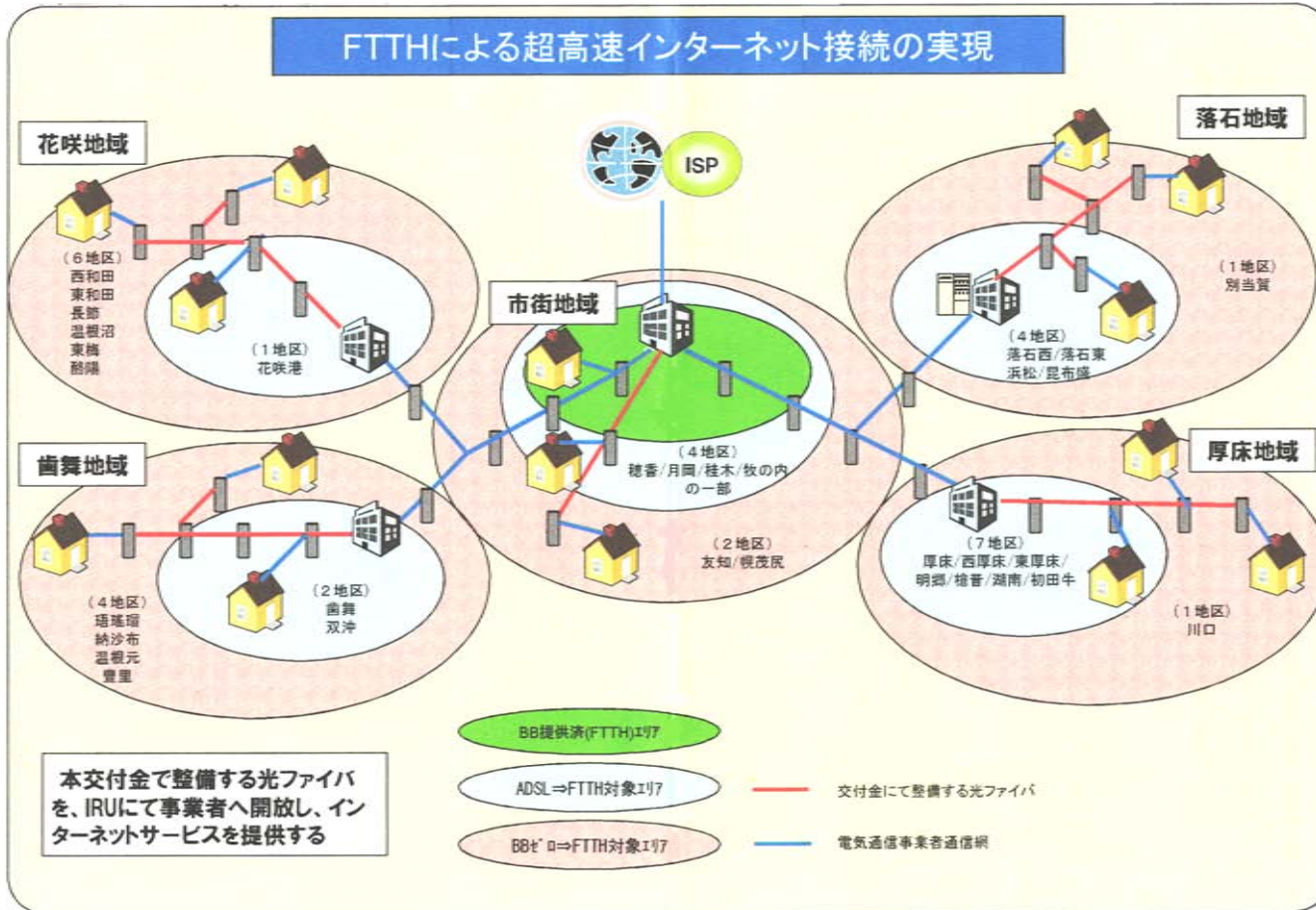
講師：拓殖大学地方政治センター長、自治体議会政策学会会長 竹内 譲氏

- **地方を変えるためには、議員が変わらなければならない。**
- これまでは一般質問が議会の花形であるが、これは議員一人ひとりの要求である。
- 職員の説明を聞きそれだけで判断しているのであれば、それは行政の一部であり、行政の中に埋没している。
- 職員の説明は1つの側面から自分達はこうありたいという説明である。
- 職員と違う立場で、**市民は、現場は、どう望んでいるのか調べ審議**すること。
- **国が、法律がどうでも、市民の利益を代表すること、住民のためにやることが本来の姿。**
- また、議会は、意思決定機関であり首長の提案を直せというのが本来の姿。
- 議案審議能力を高めること。
- 議会を合議体とするためには、議員が行政の中身を分る必要があり、行政の中身を市民に説明する必要がある。
- 住民の代表であり、自治体の一部ではない。

議会改革は、議員定数の削減問題を含め、議会のあり方をしっかりと整理すること、議会の透明性を高めること、何よりも、市民のための議会であることを前提として改革に取り組んでいかなければならないものと考えております。

根室市内の情報格差解消イメージ

FTTHによる超高速インターネット接続の実現



ブロードバンド未整備地区

瑠璃瑠・納沙布等14地区 640世帯

ADSL提供地区

落石東・歯舞地区等 1315世帯



市内全域に光ファイバーを



事業規模 9億円 (国費97%)

ICT交付金
 地域活性化・公共投資臨時交付金
 が財源にある。